様式

**対応状況報告書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大　 学　 名：

評価実施年度： 令和　年度

報 告 年 度 ： 令和　年度

|  |  |
| --- | --- |
| 対象となる基準 | 基準　－　 |
| 改善を要する点 | 〇 |
| 対応状況 | 【根拠資料・データ】 |

|  |  |
| --- | --- |
| 対象となる基準 | 基準　－　 |
| 改善を要する点 | 〇 |
| 対応状況 | 【根拠資料・データ】 |

（注）

１．機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。

２．「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。

３.「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。

４．根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。

５．評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の６月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。

記載例　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　様式

**対応状況報告書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大　 学　 名：　〇〇大学

評価実施年度： 令和元年度

報 告 年 度 ： 令和〇年度

|  |  |
| --- | --- |
| 対象となる基準 | 基準５－３ |
| 改善を要する点 | ○　●●研究科（修士課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。 |
| 対応状況 | ・●●研究科（修士課程）：0.90倍（XX～WW年度）と改善されている。上記の改善を要する点の指摘に対して、YY年度に●●学部入試委員会で対応措置の取組を検討の上、同年度の大学入試委員会で実施を決定し、ZZ年度から●●学部入試委員会が3年間新方式の選抜を実施し、WW年度に大学入試委員会でその成果を確認、検証している。【根拠資料・データ】認証評価共通基礎データ0-0-0-25\_・・・・・・・・・・・0-0-0-26\_●●入試委員会、●●会議、●●会議事録・・・・・・ |

【令和４年６月30日までに改善がなされなかった場合】

|  |  |
| --- | --- |
| 対象となる基準 | 基準５－３ |
| 改善を要する点 | ○　●●研究科（修士課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。 |
| 対応状況 | 現時点で改善された状況にあると判断していない。 |